

出演

とば けんじ 鳥羽 研二

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長

1978年東京大学医学部医学科卒業。1984年東京大学医学部助手。1988年テネシー大学生理学研究員。1996年プリンストン大学老年医学研究員、東京大学医学部助教授。2000年杏林大学医学部高齢医学主任教授。2006年同病院もの忘れセンター長（兼任）。2010年国立長寿医療研究センター病院長。2014年同センター総長。2015年から現職。

いなぎ ゆたか 稲垣 豊

名古屋市若年性認知症本人・
家族交流会「あゆみの会」メンバー

名古屋市千種区在住。現在69歳。60歳のころ、アルツハイマー型認知症と診断される。長年勤めた青果店を退職後、約9か月間にわたり自宅にこもりがちな生活になったが、その後、仕事や地域のスポーツクラブの活動を通して、地域・社会とのつながりを取り戻す。「あゆみの会」の中心的メンバーとして認知症の啓発活動などを行っている。

こながや ようこ 小長谷 陽子

認知症介護研究・研修大府センター
研究部長、脳神経内科医

1975年名古屋大学医学部卒業。1981年奈良県立医科大学神経内科。1985年米国メリーランド大学医学部神経内科学（2年間）。1987年奈良県立医科大学神経内科。1992年JRR東海総合病院（現・名古屋セントラル病院）神経内科主任医長。1999年同副院長。2004年認知症介護研究・研修大府センター研究部長、国立長寿医療研究センター物忘れセンター神経内科（非常勤）。若年性認知症の社会的支援について取り組むとともに、もの忘れセンターで認知症の診療を行っている。

やまだ まゆみ 山田 真由美

おれんじドア も〜やっこなごや 代表

名古屋市西区在住。現在58歳。51歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」に参加し、当事者同士の出会いのなかで前向きな気持ちになる。その経験から「認知症のことを知ってほしい」「当事者にもっと外に出てきてほしい」という思いで講演活動などを行っている。また全国的にもめずらしい当事者キャラバン・メイト（認知症サポーター養成講座の講師役）としても活躍している。名古屋市西区地域包括ケア推進会議認知症専門部会委員。

いとう あつし 伊藤 篤史

「とんと」OHANA（認知症対応型通所介護）
管理者、作業療法士

若年性認知症の方のデイサービスの経験を踏まえ、現在認知症の方と生活と一緒に楽しむ支援を行っている。日々の関わりの中で何気ないことで一緒に笑い合い、できることを一緒に思いっきり楽しむことを大切にしている。作業療法＝リハビリテーションだが、機能向上だけではなく、今まで生きてきた生活を振り返りながら人生の山をおりる支援していくことが認知症の人への作業療法と考えている。生活の中で大切にしている作業を通して自分を取り戻し、社会のなかでの居場所を得て、人とつながっていく社会参加を実現しようと日々奮闘している。

たかい りゅういち 高井 隆一

認知症のひとと家族の会愛知県支部 会員

1950年大府市生まれ。1973年中央信託銀行（現三井住友信託銀行）入社。取締役審査部長、執行役員不動産業務部長などを歴任。2008年認知症だった亡父の鉄道事故に関しJRR東海より損害賠償請求を受ける。2010年提訴され、裁判の被告となる。2015年大府市にて亡父の跡を継ぎ不動産事務所を開設。2016年亡父の鉄道事故に関し最高裁にて逆転勝訴判決を得る。これを機に、認知症の当事者や家族の現実を社会に知ってもらおうための講演活動を始めている。

ぎとう ふみき 鬼頭 史樹

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
名古屋市認知症相談支援センター 専事
若年性認知症相談支援担当

日本福祉大学社会福祉学部卒業。社会福祉士。2013年より若年性認知症相談支援担当として、若年性認知症の本人・家族の相談支援、居場所づくりなどに取り組む。名古屋市若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」のメンバー・パートナーとともに、当事者の思いの実現、「認知症の人にやさしい地域・社会」を目指して活動。認知症当事者による発信、普及啓発、当事者同士が出会い、活動が広がる場づくり支援などを行う。

まちなが としお 町永 俊雄

福祉ジャーナリスト

コーディネーター

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき（単信）、FAX、メール（ホームページの申し込みフォームから）のいずれかに

1. 名前（必ず個人名を記入） 2. 郵便番号・住所 3. 電話番号 4. 参加人数

5. ご一緒に参加される方の名前（複数名の参加を希望される場合）を書いて、お申し込みください。

お申し込み先

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

NHK厚生文化事業団「フォーラム 超高齢社会を生きる 愛知」係

FAX 03-3476-5956 ※FAX番号はお間違いのないようお願いいたします。

ホームページ <https://www.npwo.or.jp/>

※当日の入場は『入場整理券（1枚で1人入場可）』が必要です。2018年7月17日以降、順次、希望人数分を封書でお送りいたします。
※郵便番号、住所は正確にご記入ください。誤りおよび記入漏れがある場合、入場整理券が届かない場合がありますので、ご注意ください。
※個人情報は適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

定員になり次第
締め切ります

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。

超高齢社会を生きる 愛知	ふりがな	参加人数	＜ ご一緒に参加される方の名前 ＞
	名前		
	住所 〒	人	
	電話番号		

※必ず個人名をご記入ください。

※勤務先住所の場合は、勤務先名も忘れずにご記入ください。